

高齢透析患者における自己血糖 測定針の検討

医療法人社団 茨腎会 太田ネフロクリニック
○小沼 しのぶ 鈴木 教正 二階堂 剛史
上野 智敏 酒井 伸一郎

【背景】

平成26年度全国糖尿病患者数は、316万6000人と前回調査よりも46万人増加している。
(厚生労働省調べ)

当院における糖尿病合併透析患者数は121人であり平均年齢67.3歳と高齢化率が高く今回自己血糖測定針が適切に行えていない患者も多かった。

【対象・方法】

自己血糖を測定している透析患者12名
男性10名 女性2名（最高齢85歳 平均65.4歳）
について新しい血糖測定針を使用し次の3点に
ついて検討した。

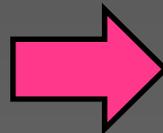
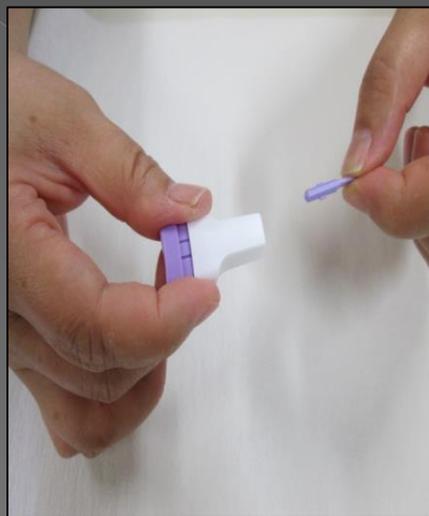
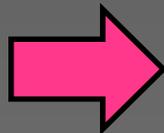
- ①自己血糖測定針の変更
- ②変更前後のアンケート実施
- ③新マニュアル作成

【以前の測定針】



穿刺まで6手技必要

【変更後】



穿刺まで3手技

①血糖測定についてのアンケート前・後

1. 現在、自宅で毎日血糖を測定していますか？

はい いいえ

いいえ と答えた方にお聞きします。理由は何ですか

2. 自己血糖測定は誰が行っていますか？

本人 家族

3. 測定操作は容易にできますか？

はい いいえ

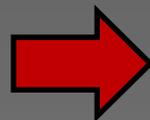
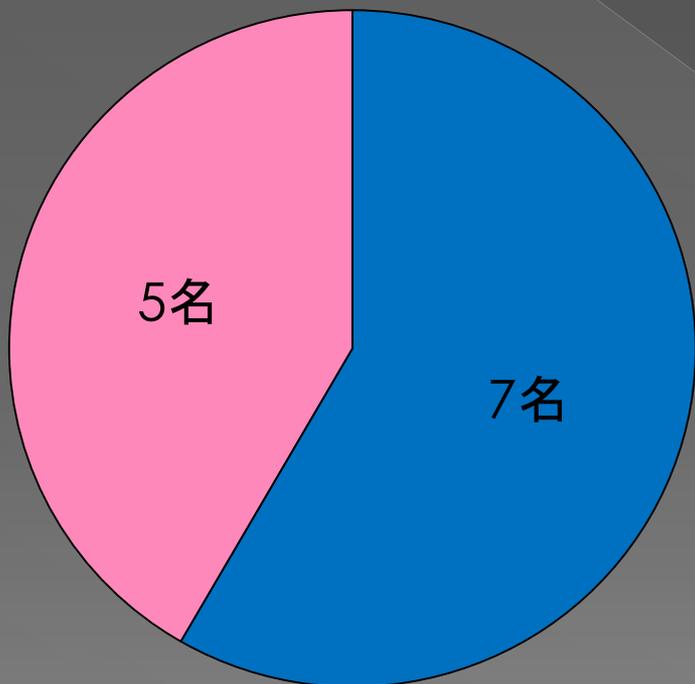
いいえ と答えた方にお聞きします。理由は何ですか

4. 穿刺時の痛みはどうですか？

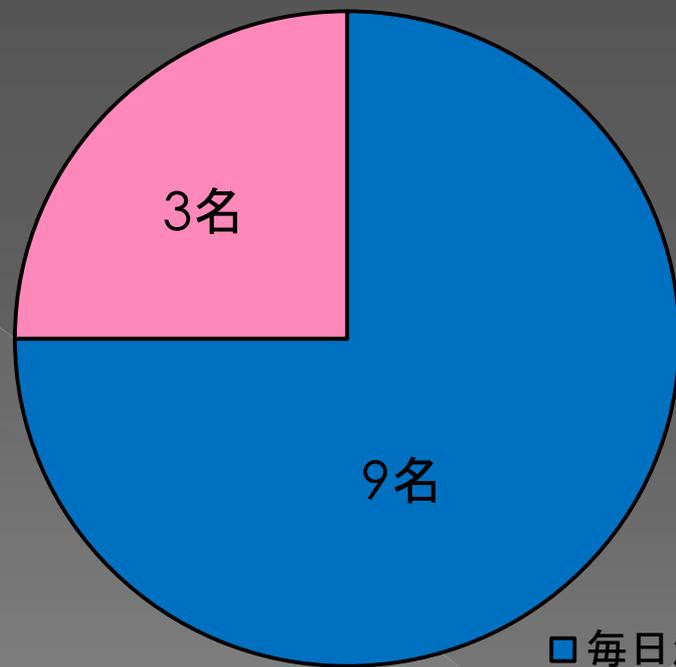
5. マニュアル・指導・その他ご意見はありませんか？

【結果】

① 現在、自宅で毎日血糖を測定していますか？



変更後

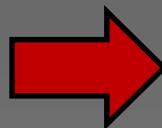
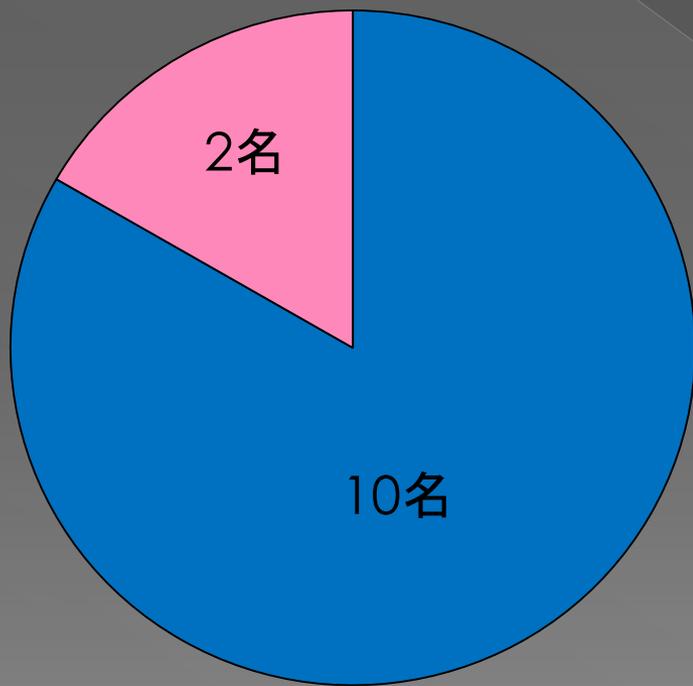


■ はい
■ いいえ

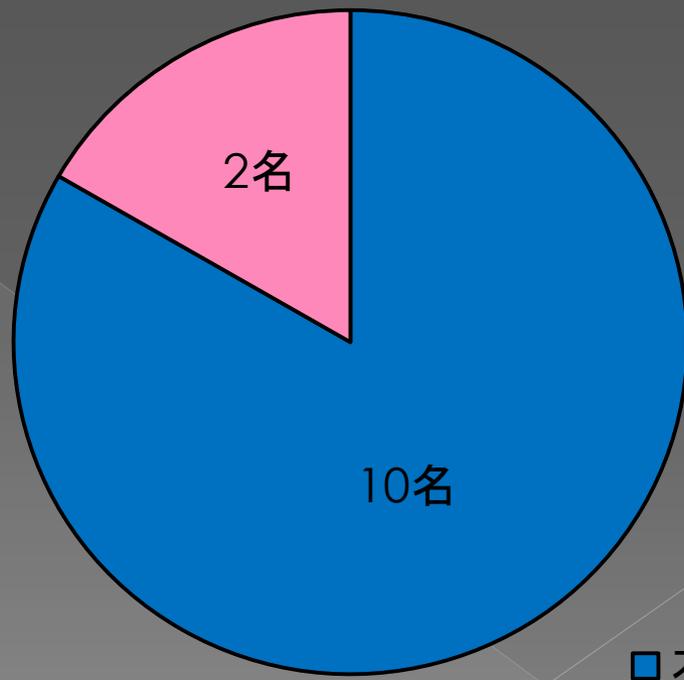
■ 毎日測定
■ 測定しない

【結果】

② 自己血糖測定は誰が行っていますか？



変更後

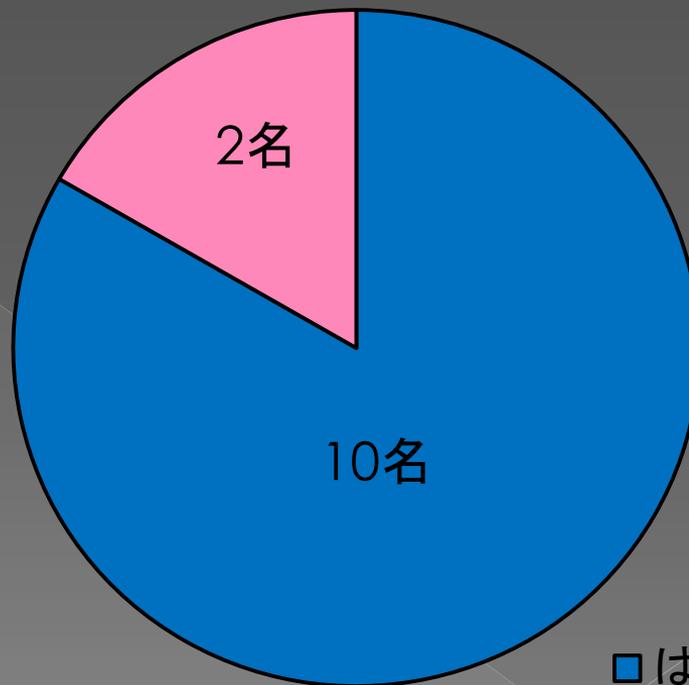
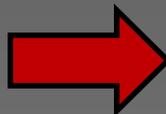
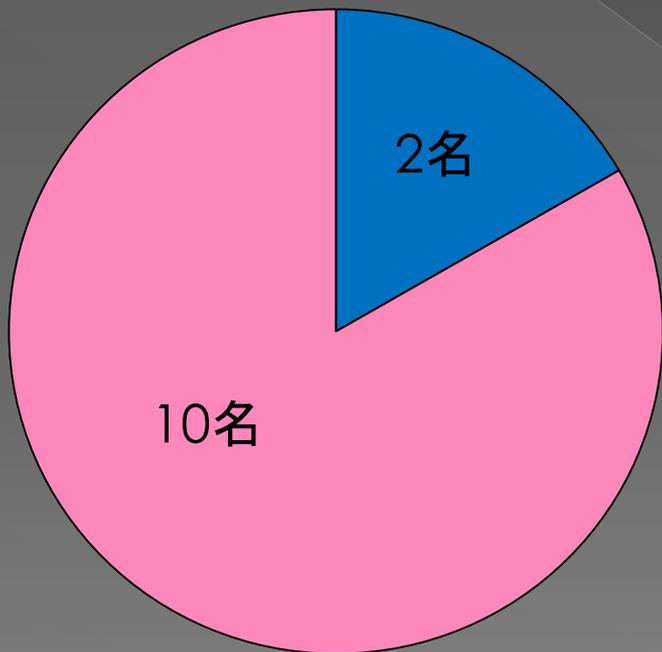


■ 本人
■ 家族

【結果】

③ 測定操作は容易にできますか？

変更後



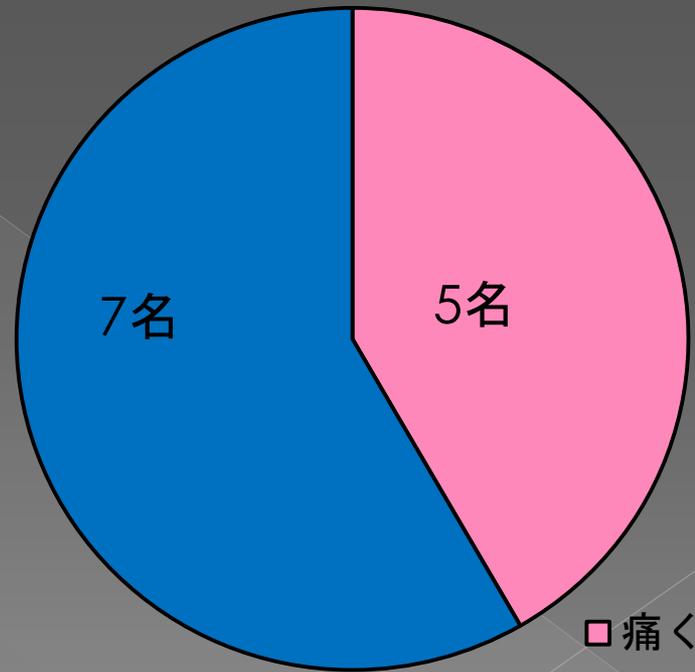
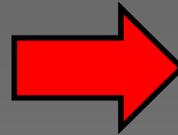
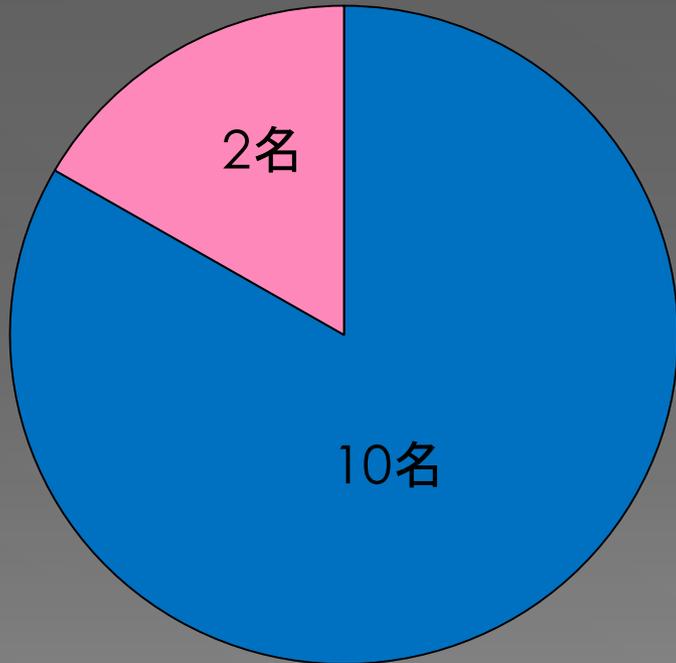
■ はい
■ いいえ

■ はい
■ いいえ

【結果】

④ 穿刺時の痛みはどうか？

変更後



■ 痛い
■ 痛くない

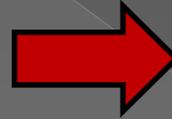
■ 痛くない
■ 変化なし

【結果】

⑤ マニュアル・指導・その他
何かご意見はありませんか？

変更後

- * 操作が多い
- * マニュアルが多い
- * 穿刺が痛くて測定していない
- * わかってはいるが忘れてしまう
- * 測るよう言われていない
- * 血が止まらないから測定していない



- * 操作が簡単になった
- * シンプルで分かりやすい
- * 測定の必要性がわかった
- * 忘れないようやってみる
- * 痛みがなくてよかった

- * 前の方がよかった
- * 仕事で忙しいからできない

【結果まとめ】

- ①自己血糖測定を行っている12名
- ②毎日測定しない患者様5名おり変更後は3名に減少した。
- ③測定操作が以前に比べ容易になった10名
- ④穿刺の痛みが楽になった5名 変化なし7名
- ⑤新マニュアルに変更し見やすく分かりやすくなった 12名

【考察】

操作の複雑さは患者様のセルフケアに大きな影響を与えると考える。

測定操作を簡便化することで毎日の自己血糖測定につながった患者様もいるが、測定の重要性・必要性を理解していない患者様もいることがわかった。

今後、必要性を再指導し継続した測定につなげていきたい。

第51回茨城人工透析談話会

COI開示

筆頭発表者 小沼 しのぶ

この演題発表に関し、COI開示すべき関連企業はありません。